

千葉県護国神社 令和5年度春季大祭奉仕活動

千葉県護国神社は、戊辰の役から大東亜戦争に至るまで、国事国難に殉ぜられた千葉県出身並びに縁故ある方々の英霊を奉斎しており、現在の合祇祭神は5万7千余柱であります。

4月10日(月)、令和5年度千葉県護国神社春季例大祭が厳かに斎行されました。

◆ 令和5年4月1日(土) 0930～1100 境内の清掃奉仕

4月10日に斎行される春季例大祭の準備として、境内の清掃奉仕を実施しました。

青木副会長、河西監事役、伏見理事役、四街道支部 山口会員、柏支部 荒木会員(本部執行役)、沼南支部 渡辺会員及び米谷会員、山武東金支部 鈴木会員、及び木更津支部 垣野会員の計9名の会員が参加しました。

また、千葉県郷友会から、5名が参加されました。

新境内地では初めての春季の清掃奉仕となりましたが、落ち葉集積、除草作業及び特攻勇士の像の手入れなどを実施しました。

休憩時間においては、会員相互の歓談により親睦が図られました。

また、竹中宮司から、今回も隊友会、郷友会の奉仕活動のお陰で10日の春季例大祭の準備を計画的に進めることができる旨お礼の言葉を頂きました。

最後に、竹中宮司を囲んでの記念写真を撮りました。

◆ 令和5年4月10日(月)

・車両統制:0830～1100

櫻井千葉稲毛支部長、河西監事役、三浦理事役の計3名の会員が参加し、神社専用駐車場の車両統制及び参列者の誘導を実施しました。

例大祭は、神社関係者、来賓招待者、各市町村遺族会会長等約80名の参列により、10時から11時半まで計画どおり実施されました。来賓招待者には、千葉市長、隊友会神原会長、隊友会 河野顧問(下総水交會会長として参列)の他、陸自第1空挺団 副団長の姿が見受けられました。

・唐櫃奉昇(からつき ほうよ):0930～1015

沼南支部 渡辺会員及び米谷会員が初めて参加しました。

立て付けではやや緊張気味でしたが、本番ではしっかりと任務を果たされました。

最後に竹中宮司を囲んでの記念写真を撮りました。

千葉県護国神社担当理事役 三浦 洋

